

●6年制学科のカリキュラムの特色

帝京大学薬学部では本学の教育指針である「実学」、「国際性」、「開放性」に基づき、実践を通して論理的な思考を身につけ、国際的に通用する知識・技能・態度を幅広く学びます。薬学教育モデル・コアカリキュラムに明示された「薬剤師として求められる基本的な資質」を基盤として「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」を策定し、1年次～6年次まで各専門分野・科目間の関連性と順次性を配慮したカリキュラムを構築し、薬の専門家としての知識・技能の習熟度を高めています。学習指導においては科目担当教員と学習支援委員会が連携し、学びを一層深めるために演習・補習を実施するほか、自己学習の道標となるガイダンスも定期的に開催しています。本学の薬学教育の特色としては、まず校舎に隣接する医学部附属病院との連携教育が挙げられます。1年次の早期臨床体験学習、3年次の病院診療科のカンファレンス参加学習、4年次の医学部附属病院・医療チームによる多職種プロフェッショナル・カンファレンス参観学習、5年次の実務実習などを実施しています。次に10学部から成る総合大学である本学の特色を活かし、医学部及び医療技術学部と連携した実践的医療人教育を実施しています。1年次には医療共通教育科目として生命倫理、医療社会学、ヒューマンコミュニケーションを履修します。ヒューマンコミュニケーションでは医療系3学部の合同演習も行います。また4年次にもチーム医療教育として、臨床事例（症例）に基づく医療系3学部合同演習（医療コミュニケーション）を実施し、チーム医療に関する理解を深めています。さらに薬学部独自に1年次から5年次まで必修科目としてヒューマンティ・コミュニケーション科目を設置し、患者中心の医療を実践するために必須の多職種連携を念頭に置いた医療人教育を行っていること、及び実践と理論・知識を統合するために5年次に行われる実務実習の開始前と終了後に薬学統合演習というグループ・ディスカッションを含むチーム基盤型学習（Team-based Learning：TBL）を取り入れた統合型学習に力を入れているところなどが特色です。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

・帝京大学医学部附属病院・溝口病院を中心に連携のとれた実務実習体制で病院実習を実施しています。
・上記附属病院の他にも、多様性のある基幹病院との十分な連携体制の下で、病院実習を実施しています。
・調整機構による薬局実習においても、担当教員を主軸に薬学教育推進センター（臨床実習ユニット）のサポートの基、連携の取れた実習を行っています。

・Webによる実務実習指導・管理システムを採用し、学生・指導薬剤師・大学間の情報共有の充実を図っている。
・薬局・病院実習22週間を通して学習成果をまとめ、全員がポスター形式で発表7分、質疑応答3分を行うことで、自分が実習した以外の施設ではどのような実習が行われたか、実務実習成果発表会でお互いの学びと経験を共有しています。
・実務実習成果発表会には、実習を行った5年生だけでなく、次年度実務実習を行う4年生、前年度実習を行った6年生も参加し、各自が経験した情報を互いに共有し、医療現場の多様性と任務の重要性を再確認する機会としています。
・関東地区調整機構内(1都9県)の出身地で実務実習を行うことを推奨しています。

●病院実習先・薬局実習先

・帝京大学医学部附属病院(板橋)
・帝京大学医学部附属溝口病院(溝口)
・東京女子医科大学附属足立医療センター
・国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
・独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
・国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター
・公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター
・上尾中央総合病院と上尾中央医科グループの各病院
・板橋中央総合病院とIMSグループの各病院 など 79カ所
関東地区調整機構に受入れ表明している1都9県の薬局 228カ所

●アドバンス(臨床)実習

近年、病気の診断や治療に貢献する放射性医薬品の研究が著しく発展し、その「調製」と「安全管理・品質管理」を担う薬剤師の育成が重要となっています。この放射性医薬品に用いられている放射性同位体（RI）の安全な取り扱いと外部被ばく管理を学ぶために、薬学生全員が最新設備の整った帝京大学板橋キャンパスのRI中央教育・研究施設で実習を行っています。

●多職種連携教育の具体的な内容

4年次に多職種連携教育の一環として、必修科目として本学医療系3学部合同で医療コミュニケーション・チーム医療演習を行います。この演習では、薬学部、医学部、医療技術学部の学生が混成チームを構成し、医学部附属病院から提示された実際の臨床検討事例（例：肺がん、心不全、糖尿病など）を対象として、各学科で学んできた専門知識を活かして

討論しながらグループワークを進め、全チームが治療・療養計画を立案して発表し、質疑応答を行います。発表会後に学生全員で医学部附属病院の現職の医療チームによる同じ臨床検討事例に基づく多職種カンファレンスを大講堂で参観し、医療の最前線で活躍する医療者と質疑応答、意見交換を行います。この多職種連携型のチーム医療演習により、各学科の学生はプロフェッショナルリズムを改めて自覚し、チーム医療の意義や多職種間コミュニケーションの重要性を学部生のうちから身をもって明確に認識することができ、さらなる学習への大きな動機付けにもなっています。

●多職種連携教育を行う医療施設名

帝京大学医学部附属病院（板橋）

●薬剤師国家試験への取り組み

教務委員会、国家試験対策小委員会、薬学教育推進センター（学習推進ユニット、就学支援ユニット）、配属研究室が連携して国家試験へ向けての学習をサポートする体制が構築されています。6年次前期は卒論実習と並行して、講義・演習を実施しています。卒論発表会終了後の後期は、講義と問題演習を徹底して繰り返し、試験を定期的に複数回実施して学力を高めていきます。試験を実施した後は試験結果をもとに配属研究室の教員が面談を行い、学習のアドバイスをすると共に、生活面などについての相談も受けます。面談結果は面接シートに記載し、その後の学習指導に活かすようにしています。

●卒業研究について

4年次に全学生が研究室に配属され、薬学共用試験終了後から6年次前期まで卒業研究を実施しています。卒業研究の成果については、研究室の教員（主査）による指導を受けて6年次前期に卒業論文を完成させるとともに、8月上旬には卒論発表会を開催し、研究成果を全学生がポスター発表します。また、卒論発表会の要旨を発表会までに作成し、発表会当日は主査と他の研究室の教員（副査）の計2名の前でポスター形式による成果発表および質疑応答を行います。

●入試の変更点

回答なし

●入試に合格するためのアドバイス

回答なし

●過去問を公開しておられますか

回答なし

●面接や小論文について教えてください

回答なし

●大学独自の奨学金制度

【“自分流”奨学金制度】

高い修学意欲を持ちながら、家計支持者の死亡、失職等による家計状況の急変により、経済的に修学が困難となった帝京大学の学部生および帝京大学短期大学の学生を対象として奨学金を支給します。

【奨学特待生制度】

一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）において、成績上位の者を奨学特待生（Ⅰ期：Aコース・Bコース・Cコース、Ⅱ期：Aコース・Bコース）とします。

なお、奨学特待生のAコース・Bコースは薬・経済・法・文・外国語・教育・理工学部を合わせて各コースⅠ期・Ⅱ期合計100名とします。また、Cコースは薬・経済・法・文・外国語・教育・理工・医療技術・福岡医療技術学部を合わせて300名とします。奨学特待生として入学を認められた者には、以下の特典が与えられます。

Aコース：入学金半額・1年次授業料全額免除

2年次以降も前年度の成績が各学科の上位5%以内であれば、引き続き奨学特待生として授業料が全額免除されます。同じく上位5%超～10%以内の場合は、授業料が半額免除されます。ただし、それ以外は奨学特待生の資格が失われます。

Bコース：入学金半額・1年次授業料半額免除

2年次以降も前年度の成績が各学科の上位10%以内であれば、引き続き奨学特待生として授業料が半額免除されます。ただし、それ以外は奨学特待生の資格が失われます。

Cコース：1年次の授業料を20万円減免
2年次以降は奨学特待生資格が継続されません。

【成績優秀者奨学金制度】

帝京大学薬学部、経済学部、法学部、文学部、外国語学部、教育学部、理工学部、医療技術学部、福岡医療技術学部における2年次以上の学生のうち、前年度の成績上位者を対象として、学納金年額20万円の減免をします。

※奨学特待生制度と重複することはできません。

【帝京大学入学金返還制度（兄弟姉妹）】

帝京大学薬学部、経済学部、法学部、文学部、外国語学部、教育学部、理工学部、医療技術学部、福岡医療技術学部への入学者で、入学年度において兄弟姉妹に帝京大学の学部在学学生を持つ者は、入学後の申請により納入済入学金の全額について返還します（兄弟姉妹が帝京大学の大学院や短期大学、専門学校、高等学校、帝京平成大学、帝京科学大学等のグル

ープ校に在学していても返還の対象となりません）兄弟姉妹が同一年度に入学する場合は、1名分の入学金が返還の対象となります。

【帝京大学入学金返還制度（卒業生子女）】

帝京大学薬学部、経済学部、法学部、文学部、外国語学部、教育学部、理工学部、医療技術学部、福岡医療技術学部への入学者で、帝京大学卒業生の子女は、入学年度において入学後の申請により納入済入学金の全額について返還します。

（帝京大学の大学院や短期大学、専門学校、高等学校、帝京平成大学、帝京科学大学等のグループ校の卒業生子女は返還の対象となりません）

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

キャンパス近隣の家賃相場は以下の通りです。

アパート

1R 6.03万円

1K 6.86万円

1DK 8.55万円

マンション

1R 7.62万円

1K 7.87万円

1DK 10.04万円

物件の場所や築年数、構造、使用状態によっては相場価格に乖離する可能性もございます。

●オープンキャンパスの日程

板橋オープンキャンパス

2023年6月4日・7月9日・8月9日・8

月10日・2024年3月16日

2022年度実施内容：入試説明会、各学部個別相談、実習室見学、キャンパスツアー など

※2023年度の実施内容につきましては、本学ホームページにてご確認ください。